



こまっ子

9月号

令和4年

9月29日

発行

桃響祭を終えて・・・

ステージ発表、やっぱり真剣に取り組んで作り上げた発表はいいですね。仕上がりも芸術です。1年生から3年生まで、それから読書文芸美術部と吹奏楽部、それぞれが特徴を出した舞台発表を見せてもらい、涙が出ました。もし、コロナ禍でなかったら、マスクなどせずにもっと距離を縮めての演技や濃い練習ができていたはずで、それを想像すると、コロナ禍の収束を願うと同時に、皆さんの力に感心せざるを得ません。将来、皆さんがこういった芸術を愛する人になってくれればいいなと思っています。

グラウンド部門、台風にやられました。1日延ばしただけで全部やり切ることができました。生徒会長さんのお話にもあったように、「勝ち負けはあるけれど、楽しんだ人が一番」ということを強く感じました。失敗する場面があっても責めるのではなく、励ましている姿もとても好印象でした。きっと、最後の学活の中で、感動を共有できたのではないかと思います。

3年間のコロナ禍のため、今回のようなフルバージョンでの桃響祭は、生徒の皆さんにとっては初めてでした。それにもかかわらず、3年生の皆さんは、1・2年生をリードして立派にやり遂げてくれました。3年生の頑張りに大きな拍手を贈ります。



↑ 1年生発表



↑ 2年生発表



↑ 3年生発表

今年度もいよいよ後半！ 動き出してみよう!!



桃響祭 閉祭式と全校制作

学園祭が終わると、年度の後半がスタートしますね。これまでの半年間で、一緒に生活する仲間たちにも、学年としての立ち位置にも慣れて、これからのことを落ち着いて考えられる状況になっているのではないのでしょうか。

4月の時点で、多くの皆さんは、1年間の目標や自分のなりたい姿を考えたり思い浮かべたりしたと思います。中間地点に到達した今、それを振り返るとと

もに、必要なら修正しながら、年度後半の自分の姿を考えてみましょう。そして、行動することが可能性を広げることにつながるのです。ほんの少しでもいいから、目標に向かって動き出してみてください。自分の生活の中に、「始められること」が必ずあると思いますよ。



吹奏楽部、おめでとう！

そして、3年生の皆さん、お疲れさまでした。

吹奏楽部の皆さん、西関東大会銀賞受賞、おめでとうございます。学園祭と取組日程が重なる中で、しかも、厳しい大会参加日程の中で、よく力を発揮してくれました。昨年の銅賞からまた一步成長しましたね。

それから、サッカー部の皆さんは、学園祭が終わった直後に「高円宮杯」がありました。3年生が出る最後の大会でした。惜しい結果に終わりましたが、この時期まで一生懸命練習する姿は、立派でした。

陸上部や駅伝部のように、もう少しだけ活動の機会が残っている部もありますが、ほとんどの3年生が部活動を引退しました。お疲れさまでした。皆さんが学校を卒業してからも、何か好きな活動を続けていってくれればいいなと願っています。もし、中学校の部活動がそのきっかけになったのなら、とても嬉しいことです。

さて、10月は、1・2年生の新人大会が待っています。



9月23日は**秋分の日**。昼と夜の長さが等しい日ですね。

さて、では、昼の長さはなぜ毎日変化していくのでしょうか？？ 夏と冬などの季節があるのも同じ理由なのですが、説明できますか？



傾きは23.4度です

「地球が太陽の周りを楕円軌道で回っていて、距離が近くなったら夏」などと考えた人いませんか？

答えは、地球の自転軸が傾いて太陽の周りを回っているからですね。白夜が起こる理由も同じです。

納得できない人は、社会科や理科の先生に聞いてみましょう。

保護者の皆さんへお知らせ

学園祭へのご協力、誠にありがとうございました。次の2点についてお願いします。

- ⌘ 10月17日は白根巨摩中学校の創立記念日です。休業日・閉庁日（職員が勤務しません）になりますのでご承知おきください。
- ⌘ 10月13日と14日は新人大会とその予備日です。お弁当対応になりますのでよろしくお願いします。